



おぐら
尾倉

校訓
自主
創造
協力



令和4年10月12日(水)発行
校長 栗原 博 巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなでつくる尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

第76回尾倉中体育大会を成功させるために

今年は3年ぶりに体育大会を実施します。とはいっても、3年生ですら中学校の体育大会の経験はありません(過去2年間は縮小版でしたので)。高校では今までのような体育大会・体育祭が復活しているようです。全校で一致団結してすばらしい体育大会にしてほしいと願っています。そこで、今日は、「体育大会」を通して育ててほしい力について書きます。

みなさんの授業や学校行事は、「学習指導要領」というものに基づいています。この学習指導要領では、体育大会は、学校行事「健康安全・体育的行事」となっています。その内容は「心身の健全な発達や健康の保持増進などについての関心を高め、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行うこと」とあります。

ここで、「体育大会」という行事を考えてみると、以下のような特徴が挙げられると思います。

- (1) 集団で勝敗を競う体育的行事である。(2) 集団行動を多く伴う体育的行事である。
- (3) 生徒が会の運営に関わる行事である。(4) 地域や家庭に広く公開する行事である。

この4つの特徴を生かした活動が体育大会なのです。

【I】勝つために全力を尽くす全力でがんばる力、団結力・連帯感、体力の向上、フェアプレーの精神、勝敗への正しい態度について

「集団で勝敗を競う体育的行事」であるのですから、勝敗も大切にしてほしいと思います。昨年のオリンピック、夏の甲子園など、日本中が感動したのは、勝利を目指してあきらめず全力で戦う選手達の姿に対してでしょう。体育大会でも、絶対に頑張るといふ強い気持ちが必要です。その気持ちがあるからこそ、全力で走り、力を出し切ることができます。たとえ1位になれなくても、順位を一つでも上げれば、自分の組や色に点数が加算され、勝利に貢献できます。そのがんばりこそが大切です。そして、絶対に忘れてはいけないことがあります。勝敗にだけこだわる人間になってはいけないということです。そのために、以下のことに気を付けましょう。

まず、フェアプレーで戦うということです。反則をして勝っても、ほんとの勝ちではないということです。正々堂々と戦って勝つのがほんとの勝ちであるということです。

次に、勝敗の結果に対しての正しい態度を考えましょう。正しい態度とはどういう態度でしょうか。尾倉中学校には、「ざまあ見ろ」などと負けた方をさげすんだり、逆に、勝った方に対して「勝ったからって調子に乗るな」などという人などいないと思います。ラグビーでは、敵味方というサイドで戦

っても試合が終わればノーサイドになって、お互いの健闘を讃え合います。スポーツの素晴らしい一面です。赤組も青組も、1組も2組も3組も4組も勝利を目指して一生懸命に頑張ったことは同じです。「勝って驕(おご)らず、負けて恥(は)じず」という言葉のように、お互いの健闘を讃え合う気持ちを大切にしていきましょう。



【II】練習を通じた集団行動力、規律ある態度、協力、集中力について

体育大会は、集団行動を身に付けるまたとない機会です。

(1) 「行進」について(変更もあります)

「行進」は一つの演技であり、前後左右の人を意識しながら、足並みをそろえて歩くことです。そのことを理解していないと、一人で自分勝手に歩き、行進になりません。次に、行進は、「めあて」があります。「手は目の高さ」「ひざは腰の位置」など体育科の先生の指示を聞きましょう。

(2) 練習中に身に付けたい集団行動について

練習が効率よく進められるための集団行動はいくつかありますが、次のようなことを「練習時の約束」として守りましょう。短時間で効率的に練習を進めることは、熱中症の予防にもなります。

- ① 集合時間を守る
- ② 移動はかけ足ですばやく動く
- ③ 先生が話す時は、先生の方を向いて聴く
- ④ 「起立」「礼」の仕方をきちんとする



【III】体育大会を運営していくことに誇りをもつ責任感、協力することについて

専門委員のみなさんは、競技をしながら体育大会の運営に関わります。これは、なかなか大変なことですが同時に、責任感をもつことができるチャンスでもあります。体育大会には、家族の人ばかりでなく、地域の人やお年寄りも見にやってきます(今年は参観しません)。その大勢の人たちの前で、自分たちが係の仕事を担い、体育大会を運営していくのです。係が動かなければ体育大会は成功しません。そのことに責任と誇りを持ちましょう。この体育大会を通して自覚がさらに高まれば、素晴らしいと思います。



【IV】尾倉中学校の「よさ」を保護者のみなさんや地域に発信することについて

体育大会は、最大の学校公開行事の一つです。日頃、学級通信や学校通信で学校の様子を伝えていますが、実際にみなさんの姿を見れば、一目瞭然です。みなさんの姿を通して、学校の様子が分かると思います。

日頃から、授業に一生懸命取り組んでいる学年の姿、集団での質の高さ、服装の乱れない態度、特に3年生のリーダーとしてのがんばりなどは、他校に誇れる尾倉中の「よさ」です。それを、競技、演技、運営の姿を通して保護者のみなさんや地域のみなさんに発信してください。

そして、その「よさ」は、みなさん日々の努力によって、身に付いたものです。この体育大会を機会に、大いに「尾倉中」のよさ、生徒のみなさんの「力」を発信していきましょう。体育大会を通して、みなさんがさらに一回り成長することを大いに期待しています。